10









Prototype Modelling
試作モデル製作

戦いは既に始まっている 前準備が結果を大きく左右

試作モデル製作は、新製品開発で検証に用いる現物形状モデルを製作する職種です。新たな工業製品開発では、コンセプトに基づくデザインから試作モデルを造り、十分な検討と修正を繰り返して形状が決定されます。少量製作なので、量産時のような生産手法に頼れないところは作業者の技能を生かし正確で迅速に対応していきます。製品開発工程の様々な要求に対応するためには、工程を理解した的確な前準備が重要です。したがって、この競技では材料に対する知識、図面を読み込む力、加工をイメージする想像力が結果を大きく左右します。



＜2025年大会 競技課題＞

競技職種と生活との関わり

自動車や新幹線、飛行機、オートバイ、介護ベッドやエレベーター、そして、冷蔵庫や洗濯機などの家電製品、玩具など大小多様な製品の開発に試作モデルが役立っています。近年では製品開発が進化し、木製主流だった試作モデルも木製以外のモデルも増えてきました。精度や機能の要求も高度化しており、新製品開発の工程においては未知の要素でも正確で迅速に作り込める緻密な技能、製造知識に基づく有用なアドバイスが量産計画に大きく貢献しています。

製作の順序、道具使いに注目！
図面を理解し、かたちの造り方を創造していく

試作モデル製作競技は手作業でかたち造りを行います。材料の特性、加工性を考慮し、各自が最適と考える製作順序で作業を進めます。これらには各選手の作業特性、熟練度が反映され、その結果として寸法精度や外観出来映えなどが盛り込まれた現物となります。競技の最中には、かたちの造られ方や道具使いに選手たちの工夫を見届ける事が出来ます。作業台の上にある持参道具には、各自の工夫が具現化されています。各選手のアプローチの違いに注目して観戦してみてはいかがでしょうか。

海野 達也 主査　株式会社海野木型製作所



前回大会金メダリストからメッセージ！

［所属：トヨタ自動車株式会社］

若林 徹太 さん

最後まで諦めないことと、その物事に情熱を持って取り組むことは何よりも大切だと思うので、情熱を持って最後まで諦めずに頑張ってほしいです！



前回大会金メダリストインタビュー！